

# 佐倉福音キリスト教会

## サクサク通信

2020年5月号(第65号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



### 今月の聖書のことば

あなたの重荷を主にゆだねよ。主があなたを支えてくださる。主は決して正しい者が揺るがされるようにはなさない。【詩篇 55 篇 22 節】

私はドキュメンタリー番組が好きなのですが、特に好きなのは「情熱大陸」です。この番組では、4月12日にウイルス学者の河岡義裕さん、19日に感染管理専門家の坂本史衣さんが取り上げられました。お察しの通り、新型コロナウイルスの問題のために働いておられる方々を特集したものでした。番組の中に感動的な要素はないのですが、ご自分がなすべき務めを淡々と行っている姿に感動を覚えました。特に、19日に放送された坂本史衣さんの回では、職場のデスクの映像が出たのですが、その壁に聖書のことばが貼ってありました。翻訳は違うのですが、それが今月のことばとして取り上げている詩篇 55 篇 22 節でした。このみことばは 2019 年 7 月のサクサク通信でも取り上げたことがあるのですが、改

めて今回取り上げたいと思います。

現在日本だけでなく、全世界が新型コロナウイルスの問題によって揺さぶられています。見えないウイルスにどのように対処すべきか苦闘しています。八割は軽症ですが、二割は重症になり、酷いケースでは死に至ります。芸能界の現役で活躍していた志村けんさんや岡江久美子さんの死は、大きな衝撃をもたらしました。そのような中であって、聖書は語りかけます。「あなたの重荷を主にゆだねよ」と。この重荷と訳されている言葉は、直訳は「(あなた) に与えられるもの」です。それをここでは「重荷」と訳していますが、私たちには様々なものが与えられ、それが重荷になります。前述の坂本さんも院内感染を防ぐべく様々な働きをしておられましたが、坂本さんにとって

もその働きは少なからず重荷であろうと思  
います。この坂本さんがクリスチャンであ  
るか否かは分かりませんが、私たちには重  
荷を委ねることができるお方がいることを  
知っていることは、恵みであり、慰めでは  
ないでしょうか。自分一人で一生懸命にな  
って背負い、押し潰されてしまうのではな  
く、主（「神」のこと）に委ねる。聖書は「委  
ねよ」と命じています。この直訳は「投げ  
る」であり、つまり、主に向かって投げな  
さい、と聖書は言っています。この詩篇を書  
いたダビデという人は、親しい者に裏切ら  
れ、孤独を味わい、嘆き、失望しました。そ  
の中で重荷を主に委ねて、平安と確信を保  
ちました。この主とは、天地万物を造り、今  
も支配し、全宇宙の王として君臨しておら  
れる神のことです。その御方に向けて、重  
荷を投げるができる。聖書は決して「一  
人で背負い続けなさい」「努力しなさい」「で  
きないのはあなたがいけない」とは言いま  
せん。むしろ自分の力に頼るのではなく、  
主に委ねることを教えます。そうするなら

～集会案内～

- 日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30      ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00  
教会学校 10:00～10:40（子どもから大人まで）      19:30～21:00  
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（子育てなどをしている方のための集い。）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

ば、主が私たちを支えてくださいます。別  
の言い方をすれば、私たちのことを主が心  
配し続けて下さるのです。また、「主は決して  
正しい者が揺るがされるようにはなさ  
らない」ともありますが、「正しい者」とは  
主に従って生きている人のことで、そのよ  
うな者たちは全能の主にかかっていますから、  
揺るがされることはありません。私自身も  
教会のこれからを考えて不安になることが  
あります。いつ皆で集まったの礼拝が再開  
できるのか、先が見えないように思えるこ  
ともありますが、このみことばに励まされ  
つつ、主に重荷を委ねて歩んでいます。皆  
様にも重荷を委ねて良い方がおられること  
を、私たちを支えて下さる方がおられるこ  
とを知って頂きたいと願っています。

◆コラム

佐倉福音キリスト教会では、5月3日現在、会  
堂に集まったの礼拝を休止しています。まさ  
か自分が生きている間に「教会に来ないでく  
ださい」と言う日が来るとは思いませんで  
した。いつになったら会堂に集まって礼拝がで  
きるのか現段階では見えませんが、神様は全  
てのことを働かせて益としてくださるお方で  
す。今は youtube を用いて礼拝をささげてい  
ますが、それだからこそ礼拝に参加できる方  
がいることも事実ですから、忍耐しつつ待ち  
望んでいます。